

弟子屈町インバウンド推進事業対策補助金

外国人観光客受け入れ対策の経費の一部を補助

町では、インバウンド(外国人観光客)受け入れ体制の充実を図るため、町内事業者の方が行うインバウンド受け入れ対策に係る経費の一部を補助しています。受け入れ対策をお考えの方は、下記までお問い合わせください。

▶補助対象経費

- 訪日外国人観光客誘致に必要な、次に掲げる経費
- ①外国語(英語・韓国語・中国語)表記による施設のパンフレット類・ホームページ作成に要する経費
- ②外国語表記による施設内の情報案内板などの整備に要する経費
- ③生活習慣の相違に対応するために必要な資料の整備に要する経費
- ④インバウンドの促進に要する経費

▶補助の種類と補助率

直接補助で補助対象経費の2分の1以内(上限10万円)

▶補助対象者

町内に事業所を有する法人、町内に住所を有する個人事業主のうち、町税を滞納していない観光関連事業者。
※2017年3月31日までに補助対象事業の完了と実績報告ができることが必要です。

▶受付期間

4月1日(金)から随時受け付けします。先着順で、予算に達し次第、受け付けを終了します。

▶応募方法

補助金等交付申請書と事業執行に係る契約内容、事業内容の分かる書類などが必要になります。詳しくは下記までお問い合わせください。

問い合わせ先/役場観光商工課観光振興係 ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

マシカガの魅力カードに！QRカードを作りました

「TESHIKAGA」の文字の上に、大きなクエスチョンマークが書かれた色とりどりのカード…。これは一体、何だろう？

道の駅摩周温泉などに置かれているこの謎のカードの正体は、観光客の方などに観光スポットを紹介する「QRカード」。てしかがえこまち推進協議会情報部会(今井善昭部会長)が作製しました。カードの裏面にはQRコード(読み取ることで情報を取得できる二次元コード)が記載されています。これをスマートフォンなどで読み込むとインターネットにつながり、弟子屈町の観光スポットの動画が見られるYouTube(ユーチューブ・動画共有サイト)のページに飛ぶようになっています。摩周湖や硫黄山などを日本語または英語で紹介する8種類のカードがありますので、町内で見かけたら手に取ってみてください。



問い合わせ先

てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)

職員人事異動【平成28年3月31日発令】

- 【退職】
- ▶横井明夫(会計管理者)▶佐々木聡(農林課長)▶阿部祐三(川湯支所次長)▶五十嵐いづみ(老人ホーム倭和園養護生活係長)▶赤間由紀子(福祉こども課保育園川湯保育係長)▶竹村均(総務課総務係)
 - ▶教育委員会▶水上俊司(指導室長)▶沼田真由美(社会教育課長補佐)▶横田幸紀(川湯屋内温水プール副館長兼管理係長兼青少年会館副館長兼管理係長)
 - ▶議会事務局▶後木英範(局長)

弟子屈町のジャガイモレシピ講習会を開催

食・文化部会

てしかがえこまち推進協議会食・文化部会(木名瀬佐奈枝部会長)は3月2日「弟子屈町のジャガイモレシピ講習会」を川湯ふるさと館で開催しました。

地域ならではの魅力である地場産品を使ったレシピを提供する店舗を増やしたい、生産者と消費者の意見交換の場をつくりたいとの思いで、町内の飲食店や宿泊施設の方などを対象に開催したもの。前年のそば粉に続き、今回はジャガイモをテーマに開催しました。講師は、ANAクラウンプラザホテル釧路の総料理長・楡金久幸シェフ。「摩周ポークと弟子屈産とうやの煮込みマスタード風味」「弟子屈産キタアカリのポターージュ」「弟子屈産インカのめざめのドーナツ グスベリ(セイヨウスグリ)のソース」の3品の料理講習を行いました。その後、屈斜路の畑作農家・星川幸喜さんとJA摩周湖農産係の高橋和茂さんが、本町で採れるジャガイモの種類ごとの特徴などについて解説。品種ごとの食べ比べや楡金シェフの料理の試食などを行いました。



楡金シェフによる料理の数々



楡金シェフによる料理講習

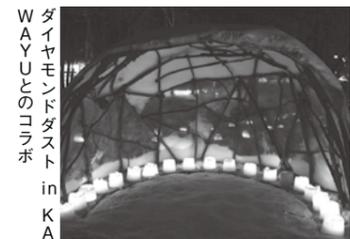
参加者の皆さんからは「いい刺激になった」「メニュー化していきたい」などの声が聞かれました。

自然美と芸術のコラボレーション マシカガ極寒アートフェスティバル

アート&アド部会

てしかがえこまち推進協議会アート&アド部会(行木衆児部会長)は2月6日~14日「てしかが極寒アートフェスティバル」を開催しました。

樹氷や雪原など本町の冬の美しさに芸術を調和させて新たな魅力をつくり出し、映像や音楽など、さまざまな形で弟子屈を表現するイベントとして川湯地区で開催したものです。期間中は「雪杜美術館」と題して野外に芸術作品を設置したほか、演劇や短編映画の上映、尺八ライブ、書道パフォーマンスなどを実施。弟子屈を音楽で表現し、競う「てしかがの音コンテスト」では、6人がベースやオカリナなど思い思いの楽器で弟子屈町を表現し、町内外から集まった観客の皆さんを盛り上げました。



ダイヤモンドダスト in KAWAYUとのコラボ

今回は、川湯の代表的なイベント「ダイヤモンドダスト in KAWAYU」との連携開催。雪あかりと共に芸術作品を設置するなど、夜は幻想的な雰囲気でのイベントとなりました。



野外に設置された雪杜美術館

えこまち情報セミナーを開催

情報部会

てしかがえこまち推進協議会情報部会(今井善昭部会長)は2月12日「えこまち情報セミナー」を川湯ふるさと館で開催しました。

講師は、15年前にウェブラジオ局を立ち上げ、国内最大級に発展させた京都のインターネットラジオ放送局「fmGIG」代表の冨沢鐘己氏、インターネット創世期からホームページに注目し、滋賀県の民間ポータルサイトとして機能させた(株)ヤマプラ代表取締役の左近満男氏の2人。地域におけるウェブサイトを利用した広報戦略についてお話していただきました。

セミナーには一般の参加者に加え、弟子屈高校で「情報処理」の授業を選択する生徒も参加。講師の皆さんは、会社立ち上げの経緯や思いなどを語り、さまざまな事例や地域情報を発信していくコツなどについて講義を行いました。



講師の話に聴き入る参加者

問い合わせ先

てしかがえこまち推進協議会事務局(役場観光商工課観光振興係) ☎ 4 8 2 - 2 9 4 0 (課直通)